

こんにちは。ホメオパシー部長の中村裕恵です。

12月7日に発売され、書店に並んでいる情報誌「婦人公論・合併特大号」に、作家の桐島洋子さんと対談した記事が掲載されました。

130～133頁で、タイトルは「ホメオパシーって、効くの？効かないの？」。

ぜひ、読んでみてください。

今回、婦人公論の対談記事で伝えきれなかった、トータルヒーリングセンターでのホメオパシーのアプローチをお伝えします。

「ホリスティック医療大好き」な桐島氏は、1度だけ、ホメオパシーを受けたことがあるそうです。

私も、20年以上のキャリアのある海外専門家3人のホメオパシーを夫々受けています。



私個人的には、桐島さん同様、「ホメオパシーが効いた感じがしない」という感想を持っていました。

勿論、風邪をひいたとき、怪我をしたとき、といった、急性のトラブルへの活用での

「効いた」感じは何度もあります。

ホメオパシーでは、自然治癒力を活性化するためにレメディを用品います。

ですが、常日頃、意識がボーっとしてしまうような、マッサージでも取り去れないような、

「慢性的な芯の疲労」に、どうしてもホメオパシーが「効いて」くれませんでした。

トータルヒーリングセンターでは、

「エネルギー・ヒーリング」と合体させてホメオパシーを使います。

私たちの心身に宿っているダイナミックなエネルギーの、

一部分だけに作用しながら浄化を促したい「ホメオパシー」が、

心身のエネルギーそのものを丁寧に扱っていく「ヒーリング」と合体することで、お互いができなかつた、心身の浄化を、相乗効果で成し遂げます。

私も5年前より、ヒーリングを定期的に受けるようになり、

同時に根深い疲労を取り除くためのホメオパシーを、適宜使うようになってから、体の苦痛が、かなり楽になりましたし、何より、小さな悩みを抱え込まなくなり、頭の中がサッパリしました。

桐島さんも、こういった体験をしていただけると、ますます「ホリスティック医療大好き」になると思いますし、

ホメオパシーへの信頼度も増されると思います。

こんな内容も話しましたが、紙面の都合上、載らなかつたので、お伝えしました。